

大牟田市総合計画審議会（第8回）会議録等

- ◆ 日 時 令和元年8月27日（火）18：00～19：00
- ◆ 場 所 大牟田市役所北別館第1会議室
- ◆ 委員出席状況 出席19人、
欠席1人

◆ 議 事

1 部会報告について

各部長より部会で出された意見要望等について報告
質疑・意見等特になし。

2 人口について

(1) まちづくり総合プラン（案）について

- ・事務局より人口ビジョン骨子（案）・人口ビジョン基礎資料について説明
- ・事務局より基本構想の人口部分について説明

委員 中国よりベトナム人の在留外国人が増えた要因は。

事務局 明確な理由は特定できていないが、企業で研修の受け入れなども増えていると聞いている。市外でも同じ傾向が出ている。

委員 外国人の方には、是非大牟田に来ていただきたい。ベトナム国籍の方に限らず、他の国籍の方にもより多く来ていただきたいと思う。

委員 技能実習制度に関わっている。その中で知っている範囲でお話をさせていただきたい。ベトナムと日本のお金の価値を比較すると、10年前は10倍の価値、最近ではベトナムも経済発展しているので6倍の価値になってきている。最近ではミャンマーから来る人も増えてきている。そういった技能実習生が増える中では、国外逃亡者も増えてきている現状。海外でもSNSにおいて、個人間で稼げる仕事の情報のやり取りがなされている。今の制度では、入国後3年間は罪を犯さない限り国に強制送還されることはない。企業も面接をするなど人材を選んでおり、月80人は大牟田・荒尾・長洲に転入してきている。

委員 資料の中で「出産を担う世代の人口減少の緩和」や「若い世代に如何に大牟田市に住み続けてもらうか」といった記載がある。これまでの

取組みをさらにブラッシュアップするということが、具体的にはどのような取組みを考えているのか。

事務局 具体的な事業は、アクションプログラムを今後作成する中で決めていくこととしている。こうした人口動向や若い世代に如何に住み続けてもらうかといったメッセージを庁内に投げかけており、現在、各部署で事業内容を検討中である。今まで、移住支援や高校魅力化プロジェクト等を実施してきているので、若い人の意見なども取り入れながら、事業に反映させていきたい。

委員 その取組みは話題としても聞いている。継続して取り組んでいただきたい。

委員 出産と子育てはワンセットと考える。出産後は男性のサポートは重要であり、成果指標に男性が子育てに関わるものも検討する必要があるのではないかと。一方、外国人の対応としては、技能実習生が就業期間に妊娠出産する可能性もあるのでそこへの対応も考えるべき。また、他自治体では条例の制定等も進んでいる同性婚についての視点も持つ必要がある。

・全体を通しての意見及び質問等について

委員 大牟田駅には、動画を流す大画面のパネル等がないので、観光客に対して動画などでの動物園や世界遺産等、市のPRができていない。そのような動画が見られる環境があれば、より大牟田をPRできる手段となるのではないかと考える。

3 その他

・起草委員会について（答申書案の作成）

9月13日（金） 18時00分から 北別館第1会議室

・次回の審議会について（答申案について）

10月1日（火） 18時00分から 北別館第1会議室

以上（19:00）終了